



最新の入試動向がわかる！

2025年度一般選抜

医学部合格ガイダンス

～入試分析編～

オンデマンド配信期間：2025年7月23日～8月31日

講演者：本部教務副統括 尾木 歩

医系専門予備校
合格者数



No.1^{※1}

2025年度入試

合格実績

医学部
・歯学部

1,368名^{※2}

うち
医学部
医学科

1,234名^{※2}

※1.「株式会社東京商工リサーチ」調べ　※2. 最終合格者数(2025年4月18日現在)イベント参加者や模試のみの受験者は含まれません



©Medical Lab

2025年度 医学部医学科 合格実績（2024年4月18日時点判明分）

●国立大学 174

旭川医科5／**北海道6**／弘前2／**東北3**／秋田0／山形7／筑波5／群馬6／千葉7／**東京0**／東京科学5／新潟6／富山4／金沢2／福井5／山梨4／信州4／岐阜5／浜松医科13／**名古屋3**／三重2／滋賀医科3／**京都1**／**大阪4**／神戸4／鳥取5／島根3／岡山3／広島5／山口5／徳島7／香川3／愛媛5／高知5／**九州1**／佐賀2／長崎2／熊本6／大分4／宮崎4／鹿児島2／琉球6

●公立大学 34

札幌医科2／福島県立医科3／横浜市立6／名古屋市立11／京都府立医科5／大阪公立1／奈良県立医科3／和歌山県立医科3

●省庁大学 8

防衛医科8

●私立大学 1018

岩手医科29／東北医科薬科12／自治医科5／獨協医科34／埼玉医科29／国際医療福祉43／杏林44／**慶應義塾6**／**順天堂29**／昭和医科26／帝京39／東京医科36／**東京慈恵会医科16**／東京女子医科34／東邦39／日本20／**日本医科33**／北里50／聖マリアンナ医科35／東海45／金沢医科56／愛知医科55／藤田医科52／大阪医科薬科31／関西医科36／近畿45／兵庫医科43／川崎医科28／久留米22／産業医科10／福岡36



医系専門予備校メディカルラボの授業は
全てプロ講師による1対1指導



1 : 1 授業

宿題

**単元定着確認テスト
(チェックテスト)**

模試

**講義だけで終わらない
定着させ、解けるようになるまで**



年間を通じて担任が学習面・生活面をフォロー
寄り添いながら医学部合格までサポート

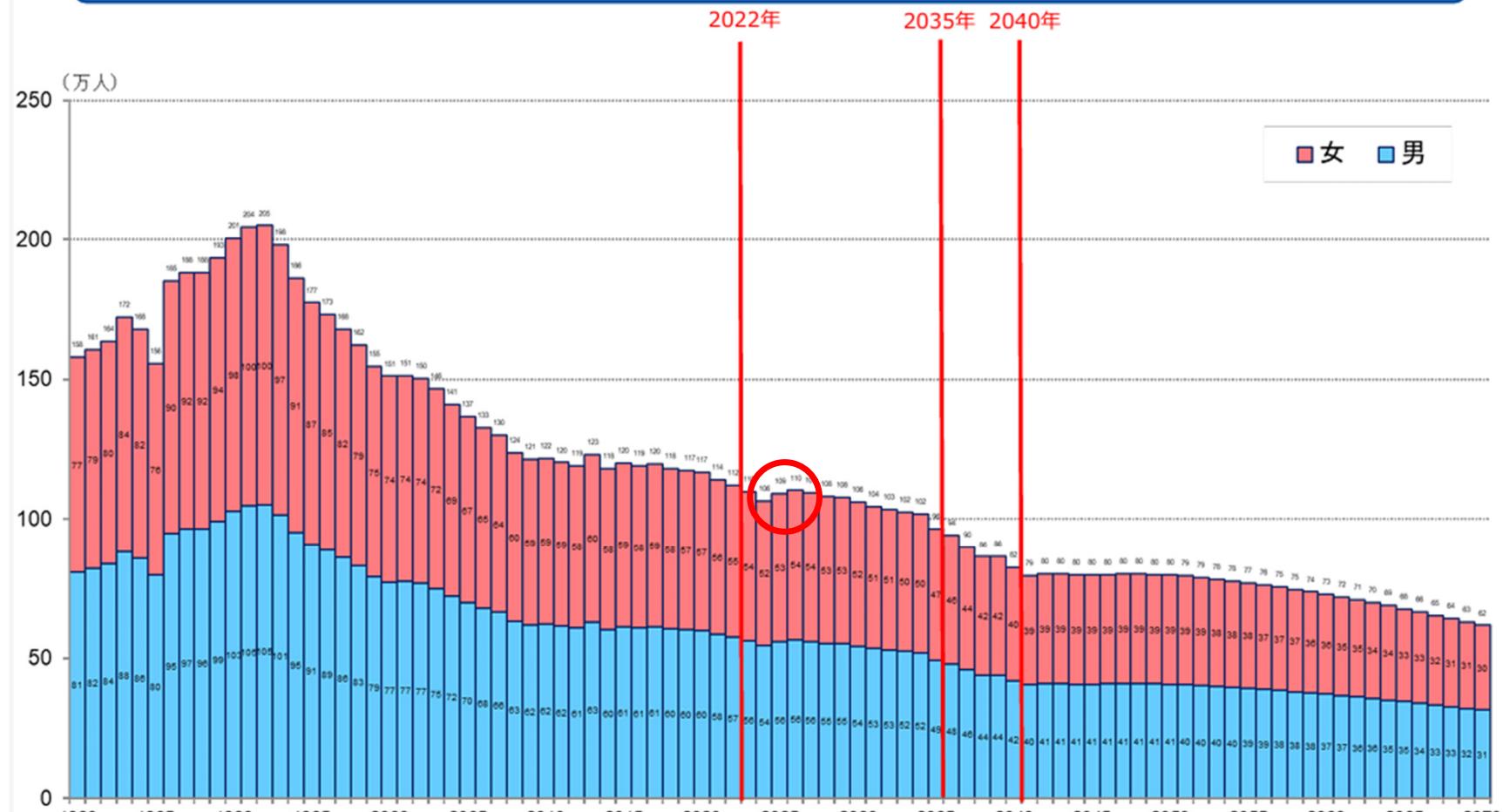
2025年度医学部入試のポイント

①新課程最初の大学入試

②18歳人口が一時的に増加（約3万人）

18歳人口(男女別)の将来推計

我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約112万人まで減少している。今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約82万人にまで減少するという推計もある。



(出典) 2022年以前は文部科学省「学校基本統計」、

2023年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）（出生中位・死亡中位）」を元に作成

共通テスト（センター試験）志願者数の推移

単位は「万人」

入試制度	センター試験				共通テスト				2025
	1992	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
志願者数(a)	47.2	57.7	55.8	53.5	53.0	51.3	49.2	49.5	
志願率 (a÷d)	26.1%	54.6%	53.5%	52.7%	53.2%	52.9%	53.1%	52.8%	
現役生(b)	29.7	46.5	45.2	45.0	44.9	43.7	42.0	42.6	
現役割合 (b÷a)	62.9%	80.6%	81.1%	84.0%	84.7%	85.2%	85.3%	86.1%	
既卒生(c)	17.5	10.7	10.0	8.1	7.7	7.2	6.8	6.5	
既卒割合 (c÷a)	37.1%	18.5%	18.0%	15.1%	14.5%	14.0%	13.9%	13.1%	
高等学校等 新規卒業見込者(d)	181.0	105.7	104.3	101.6	99.6	96.9	92.7	93.7	

※独立行政法人 大学入試センターHPより抜粋

18歳人口が一時的に増加

1. 2025年度 大学入学共通テスト結果
2. 2025年度 医学部入試の動向
3. 医学部入試の個別学力試験
4. 医学部の面接試験・小論文試験
5. 医学部の学校推薦型・総合型選抜
6. 2026年度入試に向けての夏の過ごし方

1. 2025年度 大学入学共通テスト結果

令和7年度～ 新課程共通テスト

～令和6年度入試

教科	科目	配点	試験時間
外国語	英語 (R)	100点	80分
	英語 (L)	100点	60分
数学	数学 I・A	100点	70分
	数学 II・B	100点	60分
国語	現代文	100点	80分
	古文	50点	
	漢文	50点	
理科	物理	100点 × 2科目	60分 × 2科目
	化学		
	生物		
地歴・公民	世界史B	100点 × 1科目	60分 × 1科目
	日本史B		
	地理B		
	倫理、政治・経済		
	現代社会		
	倫理		
	政治・経済		

5教科7科目、900点満点

～令和7年度入試～

教科	科目	配点	試験時間
外国語	英語 (R)	100点	80分
	英語 (L)	100点	60分
数学	数学 I・A	100点	70分
	数学 II・B・C	100点	70分
(近代以降の文章110点／古文45点／漢文45点)		200点	90分
理科	物理	100点 × 2科目	60分 × 2科目
	化学		
	生物		
地歴・公民	地理総合、地理探求	100点 × 1科目	60分 × 1科目
	歴史総合、世界史探求		
	歴史総合、日本史探求		
	地理総合、歴史総合、公共		
	公共、倫理		
	公共、政治・経済		
情報	情報 I	100点	60分

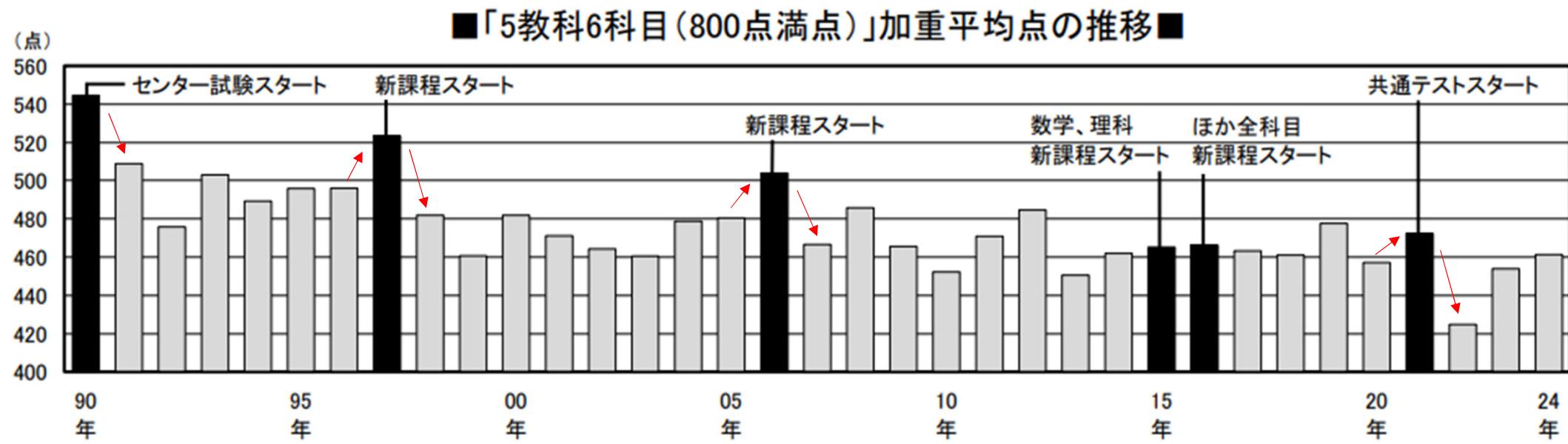
6教科8科目、1000点満点

令和7年度～ 新課程共通テスト

- 「情報Ⅰ」が追加され、6教科8科目1000点満点に。
- 国公立大学医学部医学科では「情報Ⅰ」を概ね点数化。
- 「情報Ⅰ」は満点の10%以下の傾斜配点にしている大学が多いが、一部10%以上。
- 数学Ⅱ・B・Cの大問数が4題から6題に。試験時間も60分から70分に。
- 国語の近代以降の文章が1題追加され、大問4題から5題に。試験時間も80分から90分に。
- 日本史、世界史は「歴史総合」とセットとなるため、負担増。

- 旧課程履修者に対する経過措置が取られるのは、数学、地歴・公民、情報。
- 経過措置は令和7年度入試1年限りの措置。

センター試験・共通テスト 加重平均点推移



※旺文社 情報教育センター 「2024年共通テストも結果を総まとめ！」 2024/3/5時点より抜粋 https://eic.obunsha.co.jp/file/exam_info/2024/0305.pdf

◇過年度の推移をみると、入試制度に大きな変更のある年度の平均点は前年比で高くなる傾向
 ◇その翌年は問題が難化し、平均点が前年より低くなる傾向

共通テスト（センター試験）平均点の推移

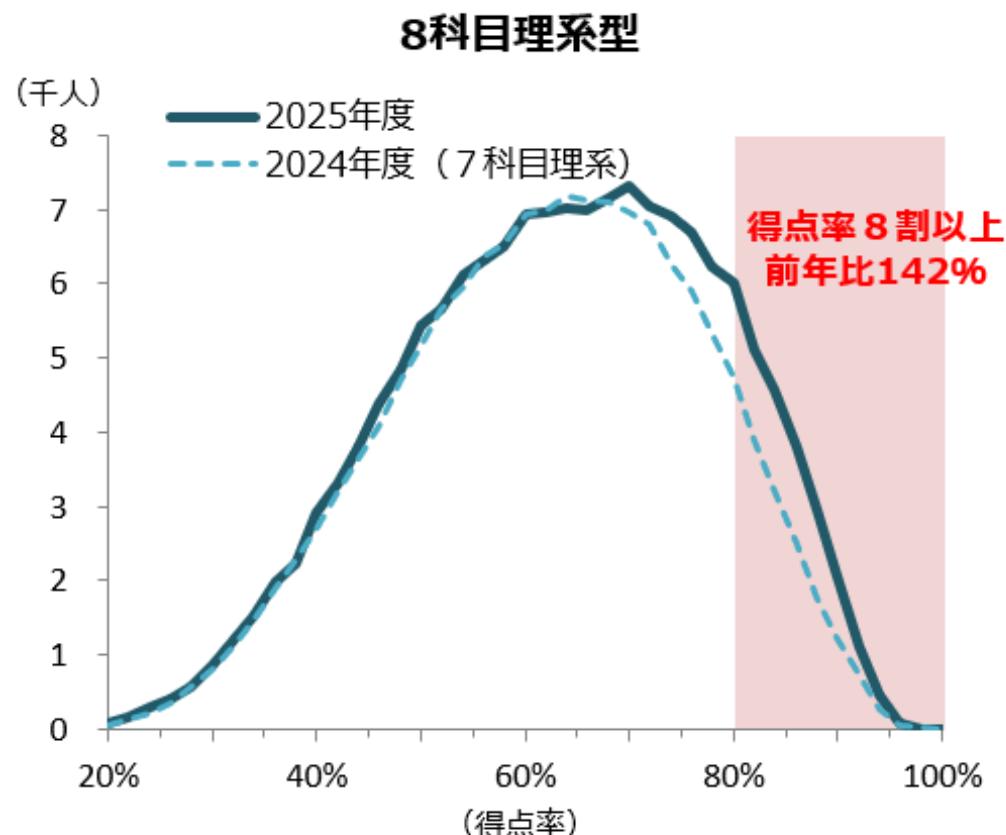
	センター試験 (知識・技能)				共通テスト (思考力・判断力・表現力)			
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
理系平均点 (~2024年度900点満点／2025年度～1000点満点)	560	571	552	571	510	548	557	633
平均得点率	62.2%	63.4%	61.3%	63.4%	56.7%	60.9%	61.9%	63.3%

※理系平均点は河合塾集計値

※2025年度は2025年2月6日時点の数字

2026年度（令和8年度）入試は難化傾向（平均点ダウン）が予想される

6教科8科目理系型 得点分布



医学部医学科受験の対象となる得点率80%以上の受験生が、前年度に比べて42%も増加

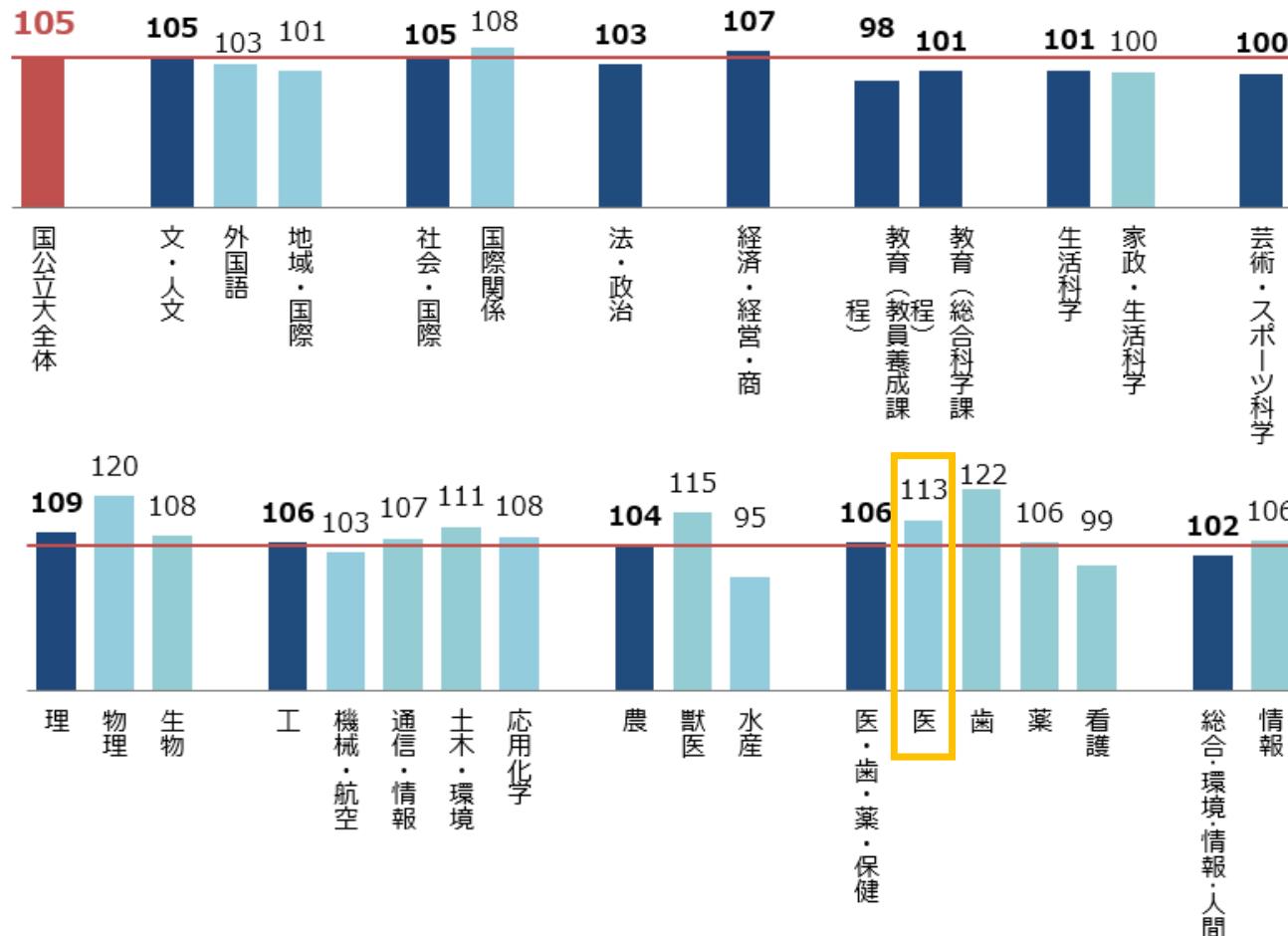
↓
医学部医学科の各大学のボーダーラインが上昇

※ 8科目理系型：外・数（2科目）・国・理（2科目）・地公・情

※2024年度の分布は5教科7科目のもの

河合塾HPより抜粋

学部系統別志望動向（国公立大学 一般選抜前期日程）



※グラフの数値は出願予定者前年比 (%)

※濃い色は学部系統を、その右側の薄い色は系統内の特徴のある分野（抜粋）を示す

※前期日程で集計

共通テスト自己採点直後の
「共通テストリサーチ」の段階では、国公立大学一般選抜前期日程において、医学部医学科の出願予定者は、前年比113%に

2025年1月20日共通テストリサーチ 河合塾HPより抜粋

©Medical Lab

学部系統別志望動向（私立大学 共通テスト利用）



共通テスト自己採点直後の「共通テストリサーチ」の段階では、私立大学共通テスト利用において、医学部医学科の出願予定者は、前年比115%に

2025年1月20日共通テストリサーチ 河合塾HPより抜粋

©Medical Lab

2025年度 医学部医学科 実際の志願者数

国公立大学 一般選抜 前期日程

志願者数: 15,973名 → 15,306名 (-667名) 前年比96%

私立大学 一般選抜 前期日程

志願者数: 77,667名 → 77,181名 (-486名) 前年比99%

[国公立大学] 前期日程、1人1大学出願

共通テスト全体の出願者は、3,257名増加(前年比101%)

医学部前期日程の志願者は減少。共通テストの平均点得点率上昇で、医学部のボーダーラインがアップしたことにより出願しなかった人がいたため。

[私立大学] 前期日程、複数校併願可能、のべ人数

前年比99%でほぼ前年並みの志願者。

共通テスト平均点アップの影響はあったが、2025年度も医学部人気は継続

医学部医学科合格に必要な共通テスト得点率

	センター試験 (知識・技能)				共通テスト (思考力・判断力・表現力)			
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
理系平均得点率	62.2%	63.4%	61.3%	63.4%	56.7%	60.9%	61.9%	63.3%
医学科合格に 必要な最低得点率	85%		80%	75%	80%		80%	

※理系平均点は河合塾集計値

※2025年度は2025年2月6日時点の数字

現状の共通テストの難易度では、得点率80%以上が求められる

共通テスト 科目別平均得点率 (%)

年度	英語 Reading	英語 Listening	数学 I A	数学II B C (数学II B)	物理	化学
2025年度	57.69 ↑	61.31 ↓	53.51 ↑	51.56 ↓	58.96 ↓	45.34 ↓
2024年度	51.54	67.24	51.38	57.74	62.97	54.77
2023年度	53.81	62.35	55.65	61.48	63.39	54.01

年度	生物	国語	歴史総合、 世界史探究 (世界史B)	歴史総合、 日本史探究 (日本史B)	地理総合、 地理探究 (地理B)	公共、 政治・経済 (倫理、政治・経済)
2025年度	52.21 ↓	63.34 ↑	68.20 ↑	56.99 ↑	57.48 ↓	62.66 ↑
2024年度	54.82	58.25	60.28	56.27	65.74	61.26
2023年度	48.46	52.87	58.43	59.75	60.46	60.59

新課程共通テスト

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの 問題作成方針に関する検討の方向性について

(1)大学入学志願者が高等学校教育の成果として身に付けた、**知識・技能や思考力・判断力・表現力等を問う問題作成**

大学で学修するために共通して必要となる、高等学校の段階において身に付けた基礎的な力を問う問題を作成する。特に、新学習指導要領において、「**主体的・対話的で深い学び**」を通して育成することとされている、**深い理解を伴った知識の質を問う問題**や、知識や技能を活用し**思考力・判断力・表現力等を發揮して解く**ことが求められる問題を重視する。その際、**言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等**を、教科横断的に育成することとされていることについても留意する。

(2)各教科・科目の特質に応じた**学習の過程を重視**した問題作成

(1)に示した知識・技能や思考力・判断力・表現力等を適切に評価できるよう、出題科目の特質に応じた**学習の過程を重視**し、問題の構成や場面設定等を工夫する。例えば、**社会や日常の中から課題を発見し解決方法を構想する場面**、**資料やデータ等を基に考察する場面**、**考察したこと**を整理して**表現しようとする場面**などを設定することによって、**探究的に学んだり協働的に課題に取り組んだりする過程**を、問題作成に効果的に取り入れる。

(3)多様な受験者の学力を適切に評価する試験問題の作成

(2)に示す問題作成の工夫を重視した上で、多様な受験者が十分に力を發揮し、(1)に示す知識・技能や思考力・判断力・表現力等を適切に評価できる問題となるよう、構成や内容、分量、表現等に配慮する。その際、これまで良質な問題作成を行う中で蓄積した知見や、試験問題の評価・分析の結果を問題作成に生かすようにする。

共通テスト → 問題分量の増加 → **読解力・速読力**

英語（R）問題文の総語数（本文・図・設問・選択肢などすべて含む）

- 2020年度（センター試験最終年度） 約4,400語
↓ +約1200語
- 2025年度（共通テスト最新年度） 約5,600語

共通テスト → 問題分量の増加 → **読解力・速読力**

数学I・数学Aのページ数

● 2020年度 (センター試験最終年度)	23ページ
	↓ + 6ページ
● 2025年度 (共通テスト最新年度)	29ページ

共通テスト対策 ~目指せ得点率80%以上~

基礎を固める

- 教科書レベルの知識
- 傍用問題集レベルの解法
- 丸暗記はNG
- 理解を伴う正確な知識
- 反復演習による定着
- 定義・定理・公式を重視
- 全科目・全単元
- 苦手を作らない

応用力を磨く

- 定義の説明
- 公式の導出
- 別解の習得
- 周辺知識の習得
- 問題文の整理・設問理解
- 資料の整理・活用
- 共通テスト模試の活用
- ミスを減らす工夫

得点力を高める

- 目標点設定（科目ごと）
- 共通テスト問題集
- 共通テスト過去問
- 苦手・弱点対策
- 時間配分
- 解答順序
- 体調管理

共通テスト目標点の設定

志望大学名	ボーダー得点率	目標得点率
	%	%

科目名	満点	目標点	換算点	克服課題
英語（リーディング）	100			
英語（リスニング）	100			
数学ⅠA	100			
数学ⅡBC	100			
国語	近代以降の文章	110		
	古文	45		
	漢文	45		
理科① ()	100			
理科② ()	100			
地歴公民 ()	100			
情報I	100			
合計	1000			

2. 2025年度 医学部入試の動向

国公立大学医学部医学科 志願者数推移 (一般選抜前期日程)

入試年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
志願者数 (人)	16,391	14,742	14,773	15,087	15,960	15,973	15,306
前年比 (%)	96.1%	89.9%	100.2%	102.1%	105.8%	100.1%	95.8%
増減 (人)	-673	-1,649	31	314	873	13	-667

※メディカルラボ調べ

©Medical Lab

国公立大学医学部医学科 地区別志願者数 (一般選抜^{前期}日程)

2025	北海道	東北	関東 甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
前年比	88%	89%	89%	125%	79%	103%	104%	91%	104%
増減数	-103	-221	-290	+200	-332	+57	+62	-148	+108

2024	北海道	東北	関東 甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
前年比	91%	102%	110%	88%	83%	102%	79%	147%	106%
増減数	-79	+34	+239	-110	-315	+37	-455	+499	+163

旧帝国大学医学部医学科 志願者数推移 (一般選抜_{前期}日程)

	北海道	東北	東京	名古屋	京都	大阪	九州
2025	298	231	388	265	301	269	252
2024	295	289	416	268	288	256	265
2023	291	237	420	250	287	235	269
2022	315	242	421	150	265	260	307

最難関の旧帝大医学部では、入試科目の変更や第一段階選抜基準の変更など、特別な変更がない限り、志願者数に大きな増減は生じない。

国公立大学医学部医学科 志願者数変動の大きかった大学

一般選抜~~前期~~日程 前年比で±30%以上の変動があった大学

大学名	2025年度 募集人員	志願者数			2024⇒2025	
		2023年度	2024年度	2025年度	増減	前年比
旭川医科	40	266	225	147	-78	65%
福島県立医科	75	594	519	192	-327	37%
信州	85	380	446	276	-170	62%
富山	70	421	222	562	340	253%
三重	75	350	599	249	-350	42%
滋賀医科	60	219	268	389	121	145%
鳥取	79	422	194	383	189	197%
山口	55	381	322	204	-118	63%
徳島	62	195	146	224	78	153%
宮崎	45	282	250	382	132	153%
鹿児島	69	331	294	440	146	150%

国公立大学医学部医学科 志願者数推移 (一般選抜後期日程)

入試年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
志願者数 (人)	9,081	7,404	7,110	7,255	7,549	7,063	6,651
前年比 (%)	101.2%	81.5%	96.0%	102.0%	104.1%	93.6%	94.2%
増減 (人)	112	-1,677	-294	145	294	-486	-412

※メディカルラボ調べ

©Medical Lab

国公立大学医学部医学科 志願者数変動の大きかった大学

一般選抜後期日程 前年比で±10%以上の変動があった大学

大学名	2025年度 募集人員	志願者数			2024⇒2025	
		2023年度	2024年度	2025年度	増減	前年比
秋田	25	503	419	688	269	164%
山形	15	329	318	186	-132	58%
山口	10	254	244	445	201	182%
宮崎	15	868	350	238	-112	68%
山梨	90	1333	1764	1345	-419	76%

私立大学医学部医学科 のべ志願者数推移 (一般前期)

入試年度	2021	2022	2023	2024	2025
志願者数 (人)	69,457	68,183	70,117	77,667	77,181
前年比 (%)	94.0%	98.2%	102.8%	110.8%	99.4%
増減 (人)	-4,453	-1,274	1,934	7,550	-486

※メディカルラボ調べ

私立大学医学部医学科 志願者数変動（一般前期）

大学名	2025	志願者数		2024⇒2025		1次試験日重複 2024⇒2025
	定員	2024年度	2025年度	増減	前年比	
東北医科薬科 一般/A/B	75	2,045	1,728	-317	84%	単独→3
埼玉医科 一般	60	1,494	2,495	1001	167%	4→3
杏林 一般(地域含)	104	2,975	2,337	-638	79%	単独→2
昭和医科 I期(地域含)	104	2,233	3,128	895	140%	4→単独
東京女子医科 一般	67	959	1,068	109	111%	3→4
東邦 一般(地域含)	72	3,069	2,289	-780	75%	2→3
日本 N1(地域含)	80	1,959	2,176	217	111%	4→4

私立大学医学部医学科 志願者数変動（一般前期）

大学名	2025	志願者数		2024⇒2025		1次試験日重複 2024⇒2025
	定員	2024年度	2025年度	増減	前年比	
東海 一般(2日程計)	60	3,565	4,042	477	113%	①4→2 ②2→2
藤田医科 一般前期(地域含)	87	1,963	1,625	-338	83%	単独→3
関西医科 一般前期(地域/研修医含)	72	2,297	1,994	-303	87%	2→3
近畿 一般前期(地域含)	64	2,132	1,697	-435	80%	単独→2
産業医科 一般B	5	468	406	-62	87%	単独→2
福岡 一般	60	2,071	2,593	522	125%	4→2

私立大学医学部医学科 志願者数変動（一般前期）2026年度

【抜粋】令和7年度大学入学者選抜実施要項
(令和6年6月5日 6文科高第299号文部科学省高等教育部長通知)

第4 試験期日等

1 大学入学共通テストの実施期日は以下のとおりとする。

本試験 令和7年1月18日、19日

追試験 令和7年1月25日、26日

2 第6の1に示す個別学力検査（各大学で実施する一般選抜における学力検査並びに総合型選抜及び学校推薦型選抜において実施する場合の学力検査）の期日については、次により適宜定める。

(1) 試験期日 令和7年2月1日から3月25日までの間

なお、小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技等の評価方法については、令和7年2月1日よりも前から実施することができるが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

(2) 入学願書受付期間 試験期日に応じて定める。

(3) 合格者の決定発表 令和7年3月31日まで

- 3 総合型選抜、学校推薦型選抜等において学力検査を課さない場合は、上記2(1)の試験期日によることを要しないが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。
- 4 総合型選抜については、入学願書受付を令和6年9月1日以降とし、その判定結果を令和6年11月1日以降に発表する。
- 5 学校推薦型選抜については、入学願書受付を令和6年11月1日以降とし、その判定結果を令和6年12月1日以降で一般選抜の試験期日の10日前まで（学校推薦型選抜で大学入学共通テストを活用する場合は前日までのなるべく早い期日）に発表する。
- 6 帰国生徒又は社会人を対象に募集区分を設ける場合の試験期日、入学願書受付期間及び合格者の決定発表は、上記2から5によることを要しない。

2026年度入試日程 1月→2月への変更（判明分）

獨協医科	1月27日・28日→2月11日・12日
杏林	1月23日→2月2日
北里	1月31日→2月3日
金沢医科	1月30日・31日→2月3日・4日
川崎医科	1月26日→2月1日

2月中の重複日程が増加→受験校選定が重要に！

私立大学医学部医学科 のべ志願者数推移 (一般後期)

入試年度	2022 実施11大学	2023 実施11大学	2024 実施12大学	2025 実施13大学
志願者数 (人)	10,706	10,038	12,738	13,309
前年比 (%)	102.3%	93.8%	126.9%	104.5%
増減 (人)	243	-668	2,700	571
実施大学	埼玉医科、昭和、日本、日本医科、聖マリアンナ医科、金沢医科、藤田医科、大阪医科、関西医科、近畿、久留米	埼玉医科、昭和、日本、日本医科、聖マリアンナ医科、金沢医科、藤田医科、大阪医科、関西医科、近畿、久留米	獨協医科、埼玉医科、昭和、日本、日本医科、聖マリアンナ医科、金沢医科、藤田医科、大阪医科、関西医科、近畿、久留米	獨協医科、埼玉医科、昭和、日本、日本医科、東邦、聖マリアンナ医科、金沢医科、藤田医科、大阪医科、関西医科、近畿、久留米

※メディカルラボ調べ

私立大学医学部医学科 志願者数変動（一般後期）

大学名	2025	志願者数		2024⇒2025		1次試験日重複 2024⇒2025
	定員	2024年度	2025年度	増減	前年比	
埼玉医科 一般後期	20	1,545	1,812	267	117%	3→3
関西医科 一般後期	5	419	366	-53	87%	3→3
近畿 一般後期(地域含)	9	663	951	288	143%	単独→単独
久留米 一般後期	5	572	643	71	112%	単独→単独

国公立大学医学部 難易度 (一般選抜前期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン (合格可能性50%)
93%	東京72.5(+1%)
92%	東京科学70.0(+4%)
91%	京都72.5(+1%)
90%	大阪70.0(+1%)
89%	千葉67.5(+2%)／名古屋67.5(+1%)／横浜市立67.5(+3%)
88%	北海道65.0(+3%)／九州67.5(±0%)
87%	東北67.5(+2%)／筑波65.0(+2%)／神戸67.5(-1%)／大阪公立67.5(±0%)
86%	岡山65.0(±0%)／名古屋市立65.0(+3%)／奈良県立医科(-1%)
85%	新潟65.0(+3%)／信州65.0(+4%)／滋賀医科65.0(+3%)／広島67.5(±0%)

※河合塾2025年度入試の合否追跡資料より抜粋

※募集定員の多い一般枠のみ掲載（地域枠等は除く）

※大学名横の数字は、河合塾全統記述模試における大学個別試験のボーダー偏差値

※()内の数字は、前年度同資料との比較。共通テストボーダー得点率の増減を示す

※偏差値ボーダーが前年度より上がった大学名・偏差値を青字、下がった大学名・偏差値を赤字で表記

国公立大学医学部 難易度 (一般選抜前期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン (合格可能性50%)
84%	鳥取62.5(+4%)／ 徳島60.0(+2%) ／佐賀62.5(+3%)／熊本65.0(+3%)／和歌山県立医科65.0(+3%) 京都府立医科65.0(+1%)
83%	山形62.5(+2%) ／群馬62.5(+3%)／岐阜62.5(+2%)／山口65.0(+1%)
82%	札幌医科62.5(+1%)／富山62.5(+3%)／ 金沢62.5(±0%) ／浜松医科65.0(+1%)／ 三重62.5(-2%) 愛媛65.0(+4%)／長崎65.0(+1%)／ 大分62.5(+1%) ／ 宮崎65.0(+4%) ／鹿児島62.5(+2%) 琉球62.5(+1%)
81%	島根65.0(+1%)／高知65.0(-1%)
80%	弘前62.5(+2%)／ 秋田62.5(+1%) ／香川62.5(-2%)
79%	福島県立医科60.0(-2%)
78%	福井60.0(±0%)
77%	旭川医科60.0(-2%)

※河合塾2025年度入試の合否追跡資料より抜粋

※募集定員の多い一般枠のみ掲載（地域枠等は除く）

※大学名横の数字は、河合塾全統記述模試における大学個別試験のボーダー偏差値

※()内の数字は、前年度同資料との比較。共通テストボーダー得点率の増減を示す

※偏差値ボーダーが前年度より上がった大学名・偏差値を青字、下がった大学名・偏差値を赤字で表記

国公立大学医学部 難易度 (一般選抜後期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
95%	東京科学(+2%)
94%	名古屋(+1%)
92%	千葉72.5(+2%)
90%	山形(+5%)／浜松医科(+2%)／三重(±0%)／奈良県立医科70.0(±0%)
89%	山口(+4%)
88%	佐賀(+2%)／鹿児島(+1%)
87%	秋田(+3%)／福井(+2%)／山梨67.5(+2%)／宮崎67.5(+1%)／琉球(+2%)
85%	旭川医科70.0(-2%)

※河合塾2025年度入試の合否追跡資料より抜粋

※募集定員の多い一般枠のみ掲載（地域枠等は除く）

※大学名横の数字は、河合塾全統記述模試における大学個別試験のボーダー偏差値

※()内の数字は、前年度同資料との比較。共通テストボーダー得点率の増減を示す

※偏差値ボーダーが前年度より上がった大学名・偏差値を青字、下がった大学名・偏差値を赤字で表記

2026年度入試では、旭川医科、山形、佐賀の3大学が後期日程を廃止するため、実施大学数は、16大学から13大学に減少する。

私立大学医学部 難易度 (一般選抜前期日程)

偏差値	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
72.5	慶應義塾
70.0	順天堂（A・B）／東京慈恵会医科大学／日本医科大学／関西医大
67.5	東北医科大学（A・B）／自治医科大学／国際医療福祉／昭和医科大学／東京医科大学 東邦／大阪医科大学／産業医科大学（B）／防衛医科大学
65.0	東北医科大学（一般）／杏林／帝京／日本／東海／愛知医科大学 藤田医科大学／近畿／兵庫医科大学（A）
62.5	岩手医科大学／獨協医科大学／埼玉医科大学／北里／聖マリアンナ医科大学／金沢医科大学／兵庫医科大学（B） 久留米／福岡
60.0	東京女子医科大学／川崎医科大学

※河合塾2025年度入試の合否追跡資料より抜粋

※募集定員の多い一般枠のみ掲載（地域枠等は除く）

※大学名横の数字は、河合塾全統記述模試における大学個別試験のボーダー偏差値

※偏差値ボーダーが前年度より上がった大学名・偏差値を青字、下がった大学名・偏差値を赤字で表記

3. 医学部入試の個別学力試験

医学部入試への影響 ~個別試験の難化~

～2024年度以降の国立大学の入学者選抜制度 国立大学協会の基本方針～

i) 高度な記述式試験の実施

国立大学としては、各大学がそれぞれのアドミッション・ポリシーに基づき作題し、全ての受験生に個別学力検査等で論理的思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式試験を課すこととする。ここでいう高度な記述式試験とは、例えば、複数の素材を編集・操作し、自らの考えを立論し、さらにその過程を表現する能力を評価できる問題であり、既に個別学力検査等において記述式試験を実施している大学にあっても、そのような能力をより適切に評価するため作問の改善を図る。教科・科目を含め、その具体的な内容・方法については、各大学・学部の主体的な判断に委ねられるが、各大学・学部が募集要項等において出題意図、求める能力等を明確にした上で受験生に課す。

新傾向の問題 千葉大学 2024年度 一般前期日程 生物 大問3

生徒と教師の会話を読んで、問い合わせに答える形式

災害時に起きる体の変化を話題とした会話の中で、自律神経系と内分泌系による体内環境の調節などに触れている。

新傾向の問題 鳥取大学

2022年度 一般前期日程 物理 大問3

日常的な場面に即した問題設定

自動車の追突事故の調査で、ドライブレコーダーの記録とクラクションの音を頼りに、波動の知識を用いて事故直前の自動車の速度を割り出す。

新傾向の問題 昭和大学

2024年度 一般Ⅰ期 物理 大問1のB

物理現象を考察して説明する形式

水飲み鳥（下図のような玩具）の構造に関する簡単な説明が与えられており、水飲み鳥が動き続ける原理を物理的に考察して説明する。

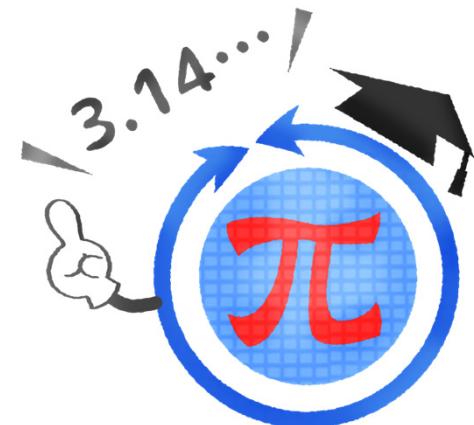


新傾向の問題 藤田医科大学

2024年度 ふじた未来（総合型選抜） 数学 大問2

定理や定義などの根本理解を問う問題

円周率の定義、弧度法における1ラジアンの定義を問われた。
また度数法と弧度法との関係性の理解も問われている。



医学部入試への影響 ~個別試験の難化~

- 医学部の個別試験において、大学入試改革を意識した問題が増加傾向。
- 「思考力・判断力・表現力」を必要とする問題の増加。
- 会話文や資料など、問題文量が増加。
- 日常生活、社会生活における実際の場面を想定した設問設定。
- 問題集に掲載される典型問題とは異なる出題形式。
- 問われている内容を短時間に正確に理解する速読力・読解力。
- 習得した知識や技能を活用する応用力。



受験予定大学の出題傾向把握と対策が重要

4. 医学部の面接試験・小論文試験

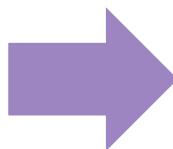
志望理由・面接・小論文の重要性

医学部医学科への進学 ≒ 将来、臨床医、研究医になる
すなわち、

医学部医学科入試 ≒ プレ就職試験



- ◇志望理由書などの事前提出書類
- ◇小論文試験
- ◇面接試験



【評価項目】

- ☆医師になりたいという意欲・自覚
- ☆医師としての将来の展望
- ☆本学志望の理由
- ☆医師としての適性・資質
- ☆コミュニケーション能力・協調性
- ☆主体性・協働性・多様性
- ☆思考力・判断力・表現力
- など

面接の種類

●個人面接

受験生1名に対し、面接官2名以上で行う面接



●集団面接（グループ面接）

複数名の受験生に対し、面接官2名以上で行う面接



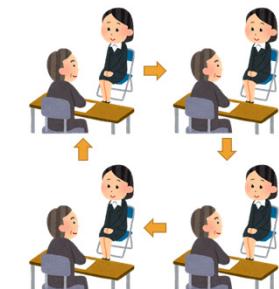
●集団討論（グループ討論）

複数名の受験生が与えられたテーマについて
討論する様子を面接官が採点する面接



● Multiple Mini Interview (MMI方式)

短時間の面接を複数の課題について複数回行う面接



近年の質問傾向

●定型質問 ⇒ 準備のできるタイプ
医師志望理由、本学志望理由、長所・短所など



●非定型質問 ⇒ 準備が難しいタイプ
時事問題、シチュエーション設定型質問など

受験生にその場で考えさせることで、
より本質を見抜こうという質問が増加

面接の出題事例

【志望理由】

- 自己PR
- 志望理由書に記載していない志望理由
- 志望理由書に記載したことより詳しく説明
- 本学について知っていることは？
- 本学の良い所・悪い所
- 10年後どうなっていか？
- 20年後どうなっていか？
- 医師に必要な要素をできるだけ列挙

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

【大学の方針について】

- 本学の建学の精神を知っているか？それについてどう思うか？
- 本学のディプロマポリシーは知っているか？それを実践するために今取り組んでいることはあるか？
- 本学のアドミッションポリシーで印象に残っているものは？
- 本学のアドミッションポリシーで最も共感するものは？その理由は？
- 本学のアドミッションポリシーで自分に合うものを選び、理由も答える
- 建学の理念を3つ挙げる

面接の出題事例

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

【受験校について】

- 併願校の選定基準は？複数大学に合格した場合、どこに進学するか？
- 併願校と（現時点で分かっている）結果
- 併願校は？第一志望校は？本学に合格したら入学するか？

【地域枠】

- 大学所在都道府県の医療問題について述べる
- 自分の出身都道府県の医療問題について述べる
- 地域医療は誰に貢献することか？
- 修学資金貸与制度についての理解を問う質問
- 義務年限終了後はどうするか？
- 建学の理念を3つ挙げる

【出身地ではないところの大学を受験した場合】

- 以前に訪れたことは？何か知っていることは？将来は残って働くつもりなのか？
- ずっと残る医師が少ないが、どうしたら解決できる？あなたは残るつもりなのか？
- 卒業後、この地域に対してどのように貢献していくつもりか？卒業後はどうするつもりか？
- オープンキャンパスなど事前に大学に訪れたことはあるか？

面接の出題事例

【時事問題】

- AIが医療にもたらす影響
- デジタルヘルス（オンライン診療、健康アプリ）
- 国民皆保険と今後の制度維持
- 美容整形外科医志望者の増加。その理由とデメリット
- 高齢者医療、高齢者の医療費（2025年度問題）
- SNS、個人情報保護、サイバーセキュリティ
- 医師の働き方改革
- 格差社会、社会的弱者
- 訪日観光客、オーバーツーリズム
- 電動キックボードなどの規制
- タイパ（タイム・パフォーマンス）
- タスクシフトとタスクシェア
- フードロスの原因と対策
- 日本の食料自給率。自給率が低いことで生じる影響
- TPP（Trans-Pacific Partnership Agreement）。自由貿易によって国内産業が受ける影響
- 地震災害と医療
- 万博
- 選挙権

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

面接の出題事例

【シチュエーション設定型質問】

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

- 電車のホームで目の前の子どもが線路に転落した場合、あなたはどのように対応しますか。
- あなたは高校在学中、友人A君とロボット大会に出場して銅賞を獲得しました。学校からB大学への推薦枠は1名のみで、あなたが推薦を得られる可能性があります。A君はB大学が第一志望で、二人とも一般選抜での合格可能性は50%程度です。あなたはA君のおかげで銅賞を獲得できたと考えています。この状況で、あなたは推薦を受けますか。
- 医学部入学後、2学年上の先輩から「簡単にできるアルバイト」があるので身分証の写真を送ってほしいと依頼されました。闇バイトの可能性を感じて躊躇していると、再度催促されました。あなたはどう対応しますか。
- チーム医療の現場で後輩が医療ミスを起こしました。あなたは後輩にどのように接し、再発防止のために何をしますか。
- 医学部5年生のAさんは、脳梗塞になった母親の介護が必要になりました。①予想される困難は何ですか、②大学側ができる支援は何ですか、③この状況下でもAさんが医師を目指すメリットは何ですか。
- 新聞配達先で毎日挨拶を交わす一人暮らしの高齢者と2日間会えていません。①毎日挨拶を交わすことのメリットは何ですか、②あなたは積極的に挨拶をしますか、③あなたと反対の立場の人はどのような理由を持つと考えられますか。
- 車椅子利用者のAさんがB大学に入学しました。①移動以外でAさんが直面する困難を2つ以上挙げてください、②それらの困難を解決するための方法を提案してください、③その解決策がAさんとB大学にもたらすメリットは何ですか。

面接の出題事例 横浜市立大学（学校推薦型選抜）

MMI／10分×5回

- テーマ① 社会性
- テーマ② 志望理由
- テーマ③ 協調性
- テーマ④ 独創性
- テーマ⑤ 倫理性

- 処方薬を飲みたくないと訴える患者について薬剤師から連絡を受けた際の対応（2021協調性）
- 出席必須の研修医向けセミナーの参加者数減少問題に対する研修医としての対応（2022協調性）
- 伝統ある茶道部と部員増加で手狭になったダンス部の部室問題に関する生徒会としての調整（2023協調性）
- すべての病気が治る新しい治療法を絵に描いて提案（2021独創性）
- 西日本に第二富士山を作るプロジェクトの意義・問題点・場所・資金調達を考案（2022独創性）
- 10万年後に人類と置き換わる可能性のある超生命体の特徴を想像（2023独創性）
- 末期がん患者への告知を希望する本人と反対する家族の間での医師としての対応（2021倫理性）
- 締切間近のグループレポートで不正を提案するメンバーへのリーダーとしての対応（2022倫理性）
- 認知症と癌転移のある祖父の治療方針をめぐる家族会議への対応（2023倫理性）

面接の出題事例 東京慈恵会医科大学（一般選抜）

MMI方式／7分×6回

問題配布後に、1～2分間、文章を読んだり考えたりする時間が与えられる。
7分経過すると、次の部屋に移動する。

● テーマ①：一般面接

事前提出書類記載内容に基づく一般的な質問

● テーマ②：データ分析力・論理的思考力

(2024)都道府県別・年齢別平均食事時間／(2025)年齢別自殺率・宝くじ購入歴、頻度、枚数と当選確率

● テーマ③：文学的感性・共感力・読み解力

(2024)幸田文『父 その死』の朗読と心情理解／(2025)壺井栄『母のない子と子のない母と』の朗読と内容把握

● テーマ④：倫理的判断・優先順位決定力

(2024)優勝決定戦欠場を希望する主力選手へのキャプテンとしての対応

(2025)実習先介護施設の悪口を言う医学生への対応／仮病で実習を欠席する学生への対応

● テーマ⑤：医療従事者としての判断力・対応力

(2024)ナイフを持って暴れる患者への対応／(2025)病院前で歌う人への対応・ワクチン忌避への対応

● テーマ⑥：実技・作業・マルチタスク能力

(2024)面接官と会話しながら折り紙を折る／(2025)面接官と会話しながらオセロで対戦する

小論文の種類

●課題文型

与えられた課題文を読んで論述する。最も出題の多い形式。

課題文の論旨を理解することが重要。課題文が英文で与えられ、英語の試験に近い形式のものもある。

●テーマ型

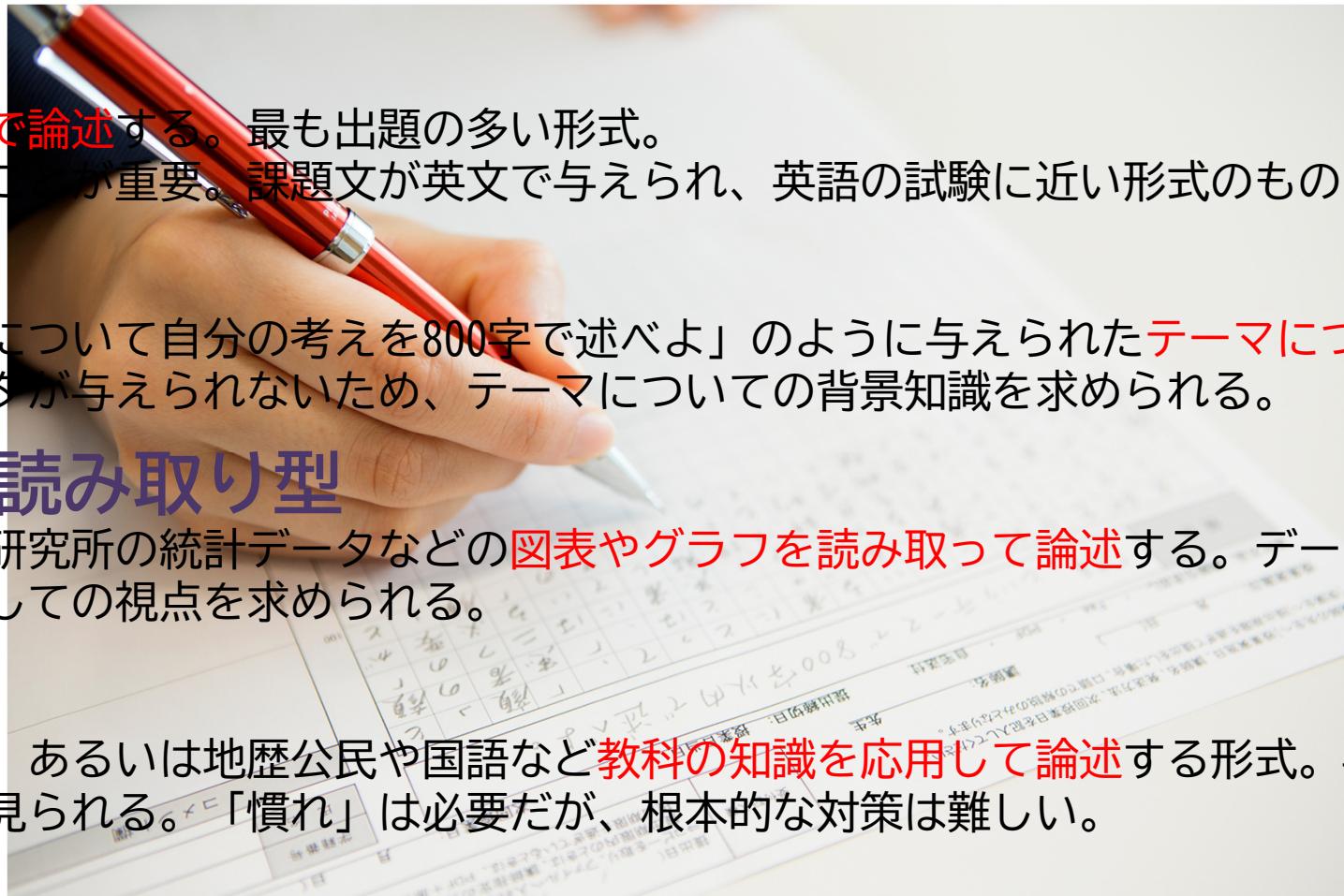
「再生医療の課題と展望について自分の考えを800字で述べよ」のように与えられたテーマについて論述する。他に文章やデータが与えられないため、テーマについての背景知識を求められる。

●図表・グラフ読み取り型

厚生労働省の白書、国立研究所の統計データなどの図表やグラフを読み取って論述する。データを客観的に分析する科学者としての視点を求められる。

●教科型

数学や物理、化学、生物、あるいは地歴公民や国語など教科の知識を応用して論述する形式。学校推薦型・総合型選抜などで見られる。「慣れ」は必要だが、根本的な対策は難しい。



一般選抜前期日程で小論文を課す国公立大学

群馬大学 課題文型（英文） 90分 800字程度

横浜市立大学 テーマ型 60分 1000字以内

京都府立医科大学 課題文型 50分 600字以内

奈良県立医科大学 課題文型+図表・グラフ読み取り型 120分 1600字以内

一般選抜前期日程で小論文を課さない私立大学

岩手医科大学 ／ 自治医科大学 ／ 東邦大学 ／ 日本大学 ／

藤田医科大学 ／ 関西医科大学

2025年度 小論文の出題事例

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

大学名	出題内容
国際医療福祉 【テーマ型】	高齢化が進行する中で介護事業の重要性は増しているが、人手不足、低賃金、重労働などの問題を抱えている。これらの課題に対して社会が取るべき根本的な政策と、その政策が実現した場合の長期的な社会への影響について論じよ。
杏林大学 【テーマ型】	(1月31日実施) : 「老いる」ということについて (2月1日実施) : 「豊かな人生」について
帝京大学 【テーマ型】	訪日外国人の増加により、病院での外国語使用の必要性が高まっている。政府が検討している専門職としての医療通訳について、翻訳アプリと比較した場合のメリットを「日本の医療制度」「文化的背景」というキーワードを用いて述べよ。
近畿大学 【テーマ型】	自分より他者を優先するという利他的な考え方について、これからの自分の人生における良い面と悪い面を具体例を挙げて論じよ。
久留米【テーマ型】	ジェンダーと医療：女性医師の増加がもたらす医療の変化
福岡 【課題文型】	山梨日日新聞2024年2月3日「介護現場カスハラ（カスタマーハラスメント）深刻」の記事を踏まえ、①医療や介護の現場で「カスハラ」が起こる理由、②利用者の権利、③医療・介護の現場で働く人の権利、④「カスハラ」を起こさないための対策、について考えを述べよ。

小論文の出題事例 横浜市立大学（一般選抜）

テーマ型／60分／1000字以内

2025年度

（受験振り返りシートより）医学における「曖昧さとそれに対する耐性」について

2024年度

フルプルーフとは、利用者が操作や取り扱い方を誤っても危険が生じない、あるいは、そもそも誤った操作や危険な使い方ができないような構造や仕組みのことを指します。この考え方を利用した構造や仕組みを考察し、1000字以内で説明して下さい。

2023年度

皆さんはこれまでの人生の様々な年代、局面で、様々な人から叱られ、また様々な人を叱ってきたと思います。「叱る」という言葉には「指導」になにがしかの「怒り」が含まれているように感じられます。「指導」において「怒り」はなぜ生じるのかを説明し、「怒り」の要素の功罪について1000字以内で論じなさい。

2022年度

我が国では、高齢医師が多く活躍しています。一方、海外では高齢医師が認知症のために不適切な診療を行い、患者を致命的な結果に至らせた事例が報告されています。この点を踏まえて、医師のキャリアについてあなたの考えを1000字以内で記載してください。

小論文の出題事例 順天堂大学（一般選抜）

特殊型／70分／800字以内

2025年度

バングラデシュ。ロヒンギヤ族難民キャンプ。炎天下の中、頭に薪を乗せて運ぶ少女の写真。この少女の生涯の健康に対して影響を与える社会的要因を挙げた上で、医師の立場からできることを述べる。

2024年度

「人種統合教育」というタイトルの写真。1976年に米国で撮影されたもの。当時、米国では人種差別を撤廃するため、公立小学校の黒人と白人の比率を平均化する政策がとられていた。現在、日本でも多様性が推進されている。写真の2人の子供が私たちに伝えようとしているメッセージを書く。

2023年度

知覧基地。特攻直前、特攻機の前に並ぶ若者たちの写真。若者の一人になって家族への手紙を書く。

2022年度

2億5千万年後に形成されると予測されているパンゲア・プロキシマ大陸の地図。そこにどんな世界が広がっているかを想像して書く。

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

©Medical Lab

志望理由・面接・小論文の準備

- 志望理由・将来像は低学年のうちから考えておく
- 小論文は課題文型小論文から練習
- 面接は個人面接から練習
- 必ず第三者に見てもらってフィードバックを受ける
- 慣れてきたら受験校の形式に合わせた練習を



5. 医学部の学校推薦型・総合型選抜

医学部医学科 募集定員（2024年度）

	医学部 全大学数	A 募集定員 合計	B 学校推薦型選抜 募集定員合計	C 総合型選抜 募集定員合計	募集定員に 対する割合 (B+C) ÷ A
国公立大学	50大学	約5,400人	約1,260人	約250人	約28%
私立大学	31大学	約3,640人	約430人	約150人	約16%
合計	81大学	約9,040人	約1,690人	約400人	約23%

※メディカルラボ調べ 2024年9月時点（認可申請中含む）

学校推薦型・総合型選抜の定員は全体の約4分の1を占める

実施大学・出願基準・特徴

区分	実施大学（2025年度）	出願基準・特徴
学校推薦型選抜 (一般枠・公募制)	国公立： 44大学/50大学	学校長の推薦が必須。 評定平均の基準 ※基準がない大学もある 国公立：4.3(A)以上
学校推薦型選抜 (地域枠)	私 立： 17大学/31大学	私 立：大学により異なる 「志望理由書」でアピールする
総合型選抜 (旧AO入試)	国公立： 15大学/50大学 私 立： 14大学/31大学	大学側が求める学生像（アドミッション・ポリシー）に合っているかどうかや、学びへの意欲や関心、適性を重視して選考する入試。学校長の推薦が必要ない場合もある。 主に「自己推薦書」でアピールする
指定校推薦	獨協医科・埼玉医科・昭和医科 日本医科・北里・金沢医科 大阪医科薬科 など	大学側が推薦できる高校を指定する。 倍率が低い。希望者が多い場合には、高校内選考をクリアしなければならない。
内部進学	獨協医科・慶應義塾・帝京・東邦 日本・東海・川崎医科・福岡 など	大学の附属(付属)高校。 高校内選抜（選考）で受験者や進学者が決まる。

※他に「卒業生推薦枠」「交友子女選抜」など、卒業生の子女を対象とした推薦枠などもある。

学校推薦型・総合型選抜の出願要件

①入試区分

※地域枠における出身校・居住地などの制限

②現浪

※卒業年度（年齢）による制限

③評定平均

※現役生は高1～高3一学期までの平均

④専願

※ごく一部を除き専願（他大学との併願不可）

⑤推薦可能人数

※1高校から推薦できる人数の制限

出願要件を満たす必要あり。詳細は必ず各大学の募集要項等で確認すること。

専願制

専願制とは？

合格した場合、その大学に入学することを確約する選抜制度のこと

⇒一般選抜を受験して、進学先を選択することはできない

【一部の例外】

東海大学（希望の星育成）：ただし、本学を第一志望とする

藤田医科大学（ふじた未来入試一般枠）：国公立大学医学部医学科に限り併願可

大阪医科大学（至誠仁術）

関西医科大学（一般枠学校推薦型選抜試験）

関西医科大学（特色選抜試験）

近畿大学（学校推薦型選抜一般公募）

受験資格（年齢）

国公立大学 関東エリアの学校推薦型・総合型選抜

大学名	区分	募集人員	受験資格		修学資金 貸与
			年齢	地域	
筑波	【推】一般	44名	現役	-	
	【推】茨城県地域枠	23名	1浪	茨城県	○
	【総】研究型人材入試	若干名	不問	-	
群馬	【推】一般枠	25名	現役	-	
	【推】地域医療枠	12名	現役	群馬県	○
東京	【推】一般	3名程度	1浪	-	
東京科学	【推】地域特別枠（茨城県）	5名以内	1浪	茨城県2名 全国3名	○
	【推】地域特別枠（長野県）	5名以内	2浪	-	○
	【推】地域特別枠（埼玉県）	5名以内	1浪	-	○
	【推】特別選抜Ⅰ	5名	現役	-	
横浜市立	【推】特別公募制・県内高校・地域医療枠	10名	現役	神奈川県	
	【推】特別公募制・県内高校・神奈川県指定診療科枠	3名	現役	神奈川県	○
	【推】特別公募制・県外高校・地域医療枠	6名	現役	-	
	【推】特別公募制・県外高校・神奈川県指定診療科枠	2名	現役	-	○

受験資格（年齢）

私立大学 関東エリアの学校推薦型・総合型選抜

大学名	区分	募集人員	受験資格		修学資金貸与
			年齢	地域など	
獨協医科	【推】公募（地域特別枠）	10名	現役	栃木・群馬・茨城 埼玉・福島・東京	
	【総】	3名以内	30歳未満	※4年生大学卒等	
埼玉医科	【推】一般公募枠	14名	1浪	-	
	【推】埼玉県地域枠	19名	1浪	-	○
	【推】特別枠	2名	1浪	-	
順天堂	【総】研究医特別選抜	2名	不問	-	○
昭和医科	【推】卒業生推薦入試	7名	現役	※卒業生子女	
帝京	【推】一般公募	15名	現役	-	
東京医科	【推】一般公募	20名以内	現役	-	
	【推】茨城県地域枠	8名以内	1浪	-	○
	【推】埼玉県地域枠	2名以内	1浪	-	○
	【推】新潟県地域枠	3名以内	1浪	-	○
	【推】群馬県地域枠	2名以内	1浪	-	○
	【推】英語検定試験利用	3名以内	1浪	-	
	【推】全国ブロック別	6名以内	1浪	全6ブロック	

大学名	区分	募集人員	受験資格		修学資金貸与
			年齢	地域など	
東京女子医科	【推】一般	約33名	1浪	-	
	【推】至誠と愛	約10名	1浪	※卒業生子女	
東邦	【推】公募制千葉県地域枠	3名	不問	-	○
	【推】公募制新潟県地域枠	6名	不問	-	○
	【推】同窓生子女入試	約5名	不問	※卒業生子女	
	【総】総合入試	約10名	1浪	-	
日本	【推】公募制	5名	1浪	-	
	【推】新潟県地域枠	2名	1浪	-	○
	【推】埼玉県地域枠	2名	1浪	-	
聖マリアンナ医科	【推】一般公募制	約20名	現役	-	
	【推】神奈川県地域枠	7名	現役	神奈川県	○
東海	【総】希望の星育成	10名	現役	-	

受験資格（評定）

国公立大学医学部医学科

大学名	区分	評定など
筑波	【推】一般枠・地域枠	A
	【総】研究型人材入試	研究レポート 英語資格
群馬	【推】一般枠・地域医療枠	ⒶまたはA
東京	【推】一般	意欲・能力／語学力を示す資料
東京科学	【推】地域特別枠（茨城・長野・埼玉）	A
	【推】特別選抜Ⅰ	4.7以上
横浜市立	【推】特別公募制 (地域医療枠・神奈川県指定診療科枠)	Ⓐ 英語資格

受験資格（評定）

私立大学医学部医学科

大学名	区分	評定など
獨協医科	【推】公募（地域特別枠）	4.0以上
	【総】	大卒など
埼玉医科	【推】一般公募枠・埼玉県地域枠	4.0以上
	【推】特別枠	英語資格など
順天堂	【総】研究医特別選抜	4.5以上 英語資格
昭和医科	【推】卒業生推薦入試	なし
帝京	【推】一般公募	4.0以上
東京医科	【推】一般公募・地域枠 全国ブロック別	4.0以上
東京女子医科	【推】一般・至誠と愛	4.1以上
東邦	【推】公募制地域枠 (千葉県・新潟県)	なし
	【総】総合入試	3.8以上かつ 数・理4.0以上
聖マリアンナ医科	【推】一般公募制・神奈川県地域枠	3.8以上かつ 英・数・理4.0以上
東海	【総】希望の星育成	3.8以上

志願者倍率

大学名	2024年度志願者倍率			
	一般選抜		学校推薦型・総合型選抜	
	区分	倍率	区分	倍率
筑波	前期日程一般枠	3.91	【推】一般枠	5.77
群馬	前期日程一般枠	4.43	【推】一般枠	2.20
東京	前期日程	4.29	【推】	5.33
東京科学	前期日程	4.29	【推】特別選抜Ⅰ	6.60
横浜市立	前期日程	3.57	【推】県内高校	2.54
獨協医科	前期	60.88	【推】公募地域特別枠	3.00
埼玉医科	前期	24.90	【推】一般公募枠	2.57
順天堂	A方式	36.95	【総】国際臨床医・研究医	6.00
昭和医科	I期	23.92	【推】卒業生推薦入試	8.00
帝京		91.89	【推】一般公募	4.07
東京医科		37.80	【推】一般公募	4.95
東京女子医科		14.31	【推】一般枠	2.00
東邦	一般枠	41.87	【総】総合入試	9.50
聖マリアンナ医科	前期	42.80	【推】一般公募制	2.64
東海		59.42	【総】希望の星育成	11.00

一般的な選考方法（入試科目）

国公立大学

大学入学共通テスト、面接、小論文など

個別試験（二次試験）の学科（英数理）
の負担が軽減される

※一部の大学を除いて、大学入学共通テストを課す

※小論文は英語での出題も多い。理科や数学の場合もある

※「適性検査」「総合問題」の名称で学科試験や小論文を課す場合もある

※過去問は非公表の場合も多い

私立大学

タイプ1：英語、数学、理科、面接、小論文

タイプ2：英語、数学、面接、小論文

一般選抜に比べて学科試験（英数理）が
易しい大学が多い

※学科試験は、「基礎学力検査」や「適性試験」などの名称で実施する大学が多い

※小論文を課さない大学もある

※過去問は非公表の場合も多い

国公立大学 一般選抜との比較 (2023年度入試結果)

入試区分別：合格者の共通テスト平均得点率

一般選抜：河合塾調べ

学校推薦型・総合型選抜：ベネッセ調べ

大学名	一般前期	一般後期	学校推薦型	総合型	大学名	一般前期	一般後期	学校推薦型	総合型	大学名	一般前期	一般後期	学校推薦型	総合型
旭川医科	78.7%	85.7%	78.0%	76.7%	滋賀医科	80.5%	-	80.9%	-	札幌医科	82.6%	-	84.0%	-
北海道	86.7%	-	-	-	京都	90.4%	-	86.6%	-	福島県立医科	79.8%	-	79.4%	74.2%
弘前	78.6%	-	-	75.7%	大阪	89.4%	-	82.4%	-	横浜市立	85.7%	-	88.8%	-
東北	84.8%	-	-	87.4%	神戸	86.9%	-	81.8%	89.4%	名古屋市立	83.6%	-	84.4%	-
秋田	80.2%	83.4%	78.3%	-	鳥取	82.1%	-	79.7%	-	京都府立医科	86.2%	-	88.0%	-
山形	82.0%	87.4%	83.0%	-	島根	79.6%	-	75.3%	-	大阪公立	87.5%	-	89.4%	88.2%
筑波	86.4%	-	82.4%	85.1%	岡山	84.8%	-	83.9%	-	奈良県立医科	83.9%	88.6%	84.4%	-
群馬	81.3%	-	83.6%	-	広島	84.9%	-	84.9%	85.3%	和歌山県立医科	81.2%	-	81.4%	-
千葉	87.3%	90.7%	-	-	山口	82.1%	88.7%	80.8%	-					
東京	92.9%	-	-	-	徳島	83.8%	-	82.6%	74.3%					
東京医科歯科	90.0%	94.8%	84.3%	-	香川	81.6%	-	77.4%	-					
新潟	84.5%	-	85.9%	-	愛媛	77.8%	-	80.7%	77.6%					
富山	80.0%	-	79.3%	81.1%	高知	78.8%	-	75.4%	76.1%					
金沢	83.1%	-	80.7%	90.2%	九州	89.3%	-	-	-					
福井	81.2%	83.6%	83.0%	-	佐賀	84.0%	87.6%	80.6%	-					
山梨	-	85.7%	-	-	長崎	81.3%	-	82.1%	-					
信州	82.7%	-	85.1%	-	熊本	82.5%	-	84.3%	-					
岐阜	82.0%	-	80.6%	-	大分	79.8%	-	-	82.8%					
浜松医科	81.6%	87.0%	81.9%	-	宮崎	79.4%	85.1%	79.3%	-					
名古屋	86.9%	92.3%	88.6%	-	鹿児島	83.1%	87.3%	79.0%	-					
三重	84.5%	88.2%	78.8%	-	琉球	80.2%	85.3%	76.2%	-					

共通テストに関しては、一般選抜合格者並み（大学によってはそれ以上）の学力は必要となる。

私立大学 一般選抜との比較 (2023年度入試結果)

入試区分別：合格者の平均偏差値

大学名	一般	学校推薦型	総合型
岩手医科	65.1	55.3	-
獨協医科	66.3	57.0	-
埼玉医科	64.2	60.6	-
帝京	67.1	61.0	-
東京医科	70.3	62.9	-
東京女子医科	60.9	55.3	-
東邦	70.0	56.2	65.9
聖マリアンナ医科	66.9	58.4	-
東海	66.3	61.8	-
金沢医科	64.5	65.3	55.6

大学名	一般	学校推薦型	総合型
愛知医科	68.0	61.5	-
藤田医科	69.6	-	67.9
大阪医科薬科	72.2	-	62.3
関西医科	72.6	65.7	-
近畿	70.1	70.6	-
兵庫医科	69.3	59.3	-
川崎医科	65.1	-	52.9
久留米	67.3	61.0	-
産業医科	69.6	60.3	-
福岡	67.4	59.2	-

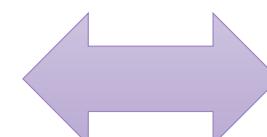
一般選抜に比べ合格者の平均偏差値が低い。（10ポイント以上の差になる場合も）

受験準備

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
国 公 立	一般			共通テスト出願					共通テスト	出願		前期
	推総1				選学 考内	出 願		試個 験別				
	推総2						選学 考内	出 願		出願	試個 験別	発表
私 立	一般						出 願			前期		後期
	推総			選学 考内	出 願	試一 験次	試二 験次	発 表				



受験本番までの準備期間が短い



万が一の場合、気持ちの切り替え

学校推薦型・総合型選抜 受験に臨むポイント

○良い点

- ①受験機会が増える（国公立）
- ②早く合格が決定する（私立）
- ③受験できる年齢が限られる
- ④科目負担が軽減される
- ⑤志願者倍率が低くなる

△注意点

- ①一部を除き専願制である
- ②受験資格に評定を含む
- ③入試時期が早い（私立）
- ④受験準備の負担が大きい
- ⑤メンタル面の配慮が必要

自分自身の学力特性や性格なども考慮した選択が必要

推薦選抜も強い！

圧倒的合格実績

2025年度入試 医学部医学科
学校推薦型・総合型選抜・編入・その他



233名

2025年4月18日現在



©Medical Lab

学校推薦型・総合型選抜

プレミア 対策講座

対象11大学(医学部医学科)

- 獨協医科大学
- 埼玉医科大学
- 東京医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 金沢医科大学
- 愛知医科大学
- 藤田医科大学
- 近畿大学
- 兵庫医科大学
- 久留米大学
- 福岡大学

お申込み・詳細はこちら



©Medical Lab

全国各地で開催

医学部 学校推薦型・ 総合型選抜対策 イベント特集



6. 2026年度入試に向けての夏の過ごし方

現役生と高卒生との大きな違い ~使える時間~

高卒生

時期
学習時間／日
トータル

現役時代
?

一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）
10時間／日			
2730時間			

現役生

高1

時期
学習時間／日
トータル

一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）	三学期（約11週）
3時間／日				
1050時間				

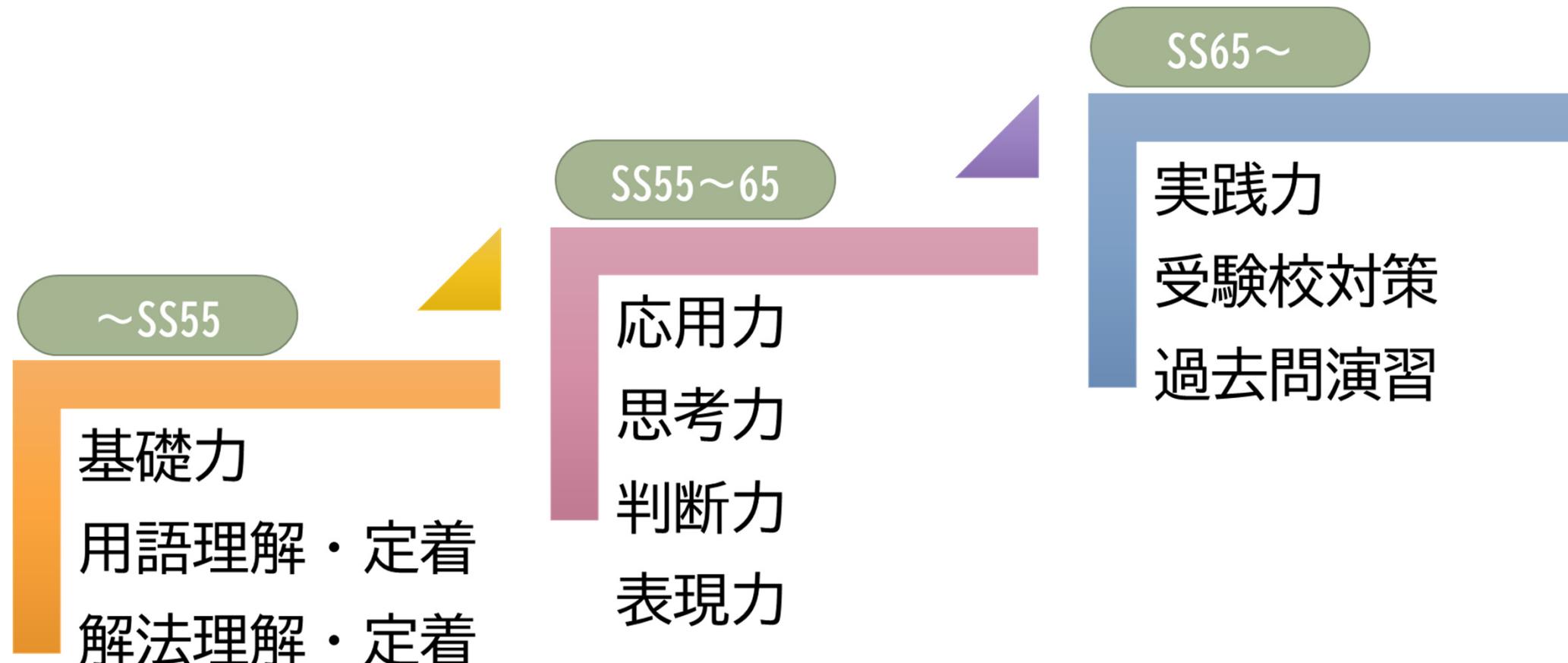
高2

時期	春休み（2週）	一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）	三学期（約11週）
学習時間／日	6時間／日	3時間／日	6時間／日	3時間／日	6時間／日	3時間／日
トータル	84時間	315時間	252時間	336時間	84時間	231時間
1302時間						

高3

時期	春休み（2週）	一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）
学習時間／日	8時間／日	5時間／日	10時間／日	5時間／日	10時間／日
トータル	112時間	525時間	420時間	560時間	140時間
1757時間					

計画的に一步一歩着実にレベルアップ
⇒ 科目ごとに自分の立ち位置に合った学習を！



高校1・2年生

苦手科目・苦手分野を克服するチャンス！

- ◆学習量の多い英語・数学を優先する
- ◆基礎を固めることに重点を置く（理解と定着）
- ◆既習範囲の苦手分野を克服する
- ◆国公立志望者は国語・地歴公民を放置しない
- ◆問題集・定期試験・模試の復習
- ◆学習計画を立てて、コンスタントに学習する
- ◆オープンキャンパスや医療体験実習などに参加する

高校3年生・高卒生

基礎を固める最後のチャンス！受験校を意識した学習

- ◆ 苦手単元の基礎を確実に固める
- ◆ 未履修範囲は基礎範囲だけでも学習しておく
- ◆ 受験校の過去問を解いてみて課題を抽出
- ◆ 医学部合格に向けて課題克服のための長期学習計画
- ◆ 医師志望理由・将来の医師像を文章化
- ◆ 国公立志望者は共通テストの目標点設定
- ◆ PDCAを意識した学習計画

高校3年生・高卒生

理数科目の後半分野に注意！

数学 数学III・C 微分法・積分法、ベクトル、複素数平面

物理 電磁気、原子

化学 天然高分子化合物、合成高分子化合物

生物 生物の進化と系統

⇒ どれも医学部入試で頻出分野

夏期講習生募集中

受講期間

6/30 [月] - 8/31 [日]

期間内でいつでも
始められます。

● 対象 高卒生・高校生・中学生

夏に、ここまでやるから

1,234名

2025年
医学部
医学科
合格者数

※2025年4月18日現在

資料請求特典

医学部受験の必携本
無料プレゼント！



充実した夏を過ごして、
医学部合格に近づこう！



©Medical Lab

6. 2026年度入試に向けての夏の過ごし方

夏期限定 無料 体験入学 —受付中—

期間限定
6/23(月)
~8/31(日)

お申込受付中

詳細・お申込はこちら▶

充実した夏を過ごして、
医学部合格に近づこう！



©Medical Lab

6. 2026年度入試に向けての夏の過ごし方



充実した夏を過ごして、
医学部合格に近づこう！



©Medical Lab

医学部合格者からのメッセージ

医学部に合格するために大切なこと

- ① 理想の将来を考えること
- ② 基礎を徹底的に固めること
- ③ 絶対にあきらめないこと
- ④ 自分に合った学習環境の選択



最新の入試動向がわかる！

2025年度一般選抜

医学部合格ガイダンス

～入試分析編～

(本資料について)

本資料の著作権は、出典が明記されているものを除き、原則として医系専門予備校メディカルラボに帰属します。本資料の一部または全部を無断で複写、複製、引用、転載等を行うことを禁止します。

©Medical Lab